

2023年5月12日

各位

会社名 アライドアーキテクト株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 CEO 中村 壮秀  
 (コード番号: 6081 東証グロース)  
 問合せ先 財務経理部マネージャー 嶋崎 友子  
 (TEL 03-6408-2791)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2023年2月10日に公表いたしました2023年12月期の業績予想を、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年12月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2023年1月1日~2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期 純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,400	百万円 480	百万円 480	百万円 370	円 銭 26.10
今回修正予想(B)	2,100	160	160	-	-
増減額(B-A)	△300	△320	△320	-	
増減率(%)	△12.50	△66.7	△66.7	-	
(参考)前期第2四半期実績(2022年12月期第2四半期)	2,154	477	610	410	29.03

#### 2023年12月期通期連結業績予想数値の修正(2023年1月1日~2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,500 ~6,000	百万円 1,200 ~1,300	百万円 1,200 ~1,300	百万円 900 ~1,000	円 銭 63.48 ~70.54
今回修正予想(B)	4,900	800	800	-	-
増減額(B-A)	△1,100 ~△600	△500 ~△400	△500 ~△400	-	
増減率(%)	△18.3 ~△10.9	△38.5 ~△33.3	△38.5 ~△33.3	-	
(参考)前期実績(2022年12月期)	4,551	1,016	1,079	805	56.95

## 2. 修正の理由

当第1四半期連結累計期間におきましては、国内SaaS事業とソリューション事業が四半期過去最高売上を達成し、中国進出支援事業についてはインバウンド需要が回復傾向となり、順調に推移いたしました。

しかしながら、海外SaaS事業のメインターゲットであるゲーム業界において、コロナ禍による巣ごもり需要の後退およびiOS/アンドロイドのプライバシー強化に伴うターゲティング精度の低下によって、2022年後半に売上が鈍化したことを受けて、当第1四半期に不採算タイトルや人員の整理を行う企業が多く、広告予算を大幅に縮小する動きが見られました。海外SaaS事業を展開するシンガポールの連結子会社であるCreadits社(クレジット社)といたしましては、そのようなマクロ環境を踏まえ、顧客との長期的な関係性を考慮した結果、複数の継続顧客(約10社)からの広告制作の一時休止の要望を受け入れる判断をいたしました。2022年12月(前期第4四半期)に発生した最大顧客の一時解約の影響に加え、イレギュラーな形で一時休止、解約・新規獲得苦戦となった当第1四半期の海外SaaS事業の売上高は大きく減少する形となり、営業利益においては一時的に1.3億円程度の赤字となりました。

上記の理由により、当第1四半期連結累計期間の売上高は10.1億円(前年同期比3.0%減)、営業利益は0.37億円(同85.2%減)で着地いたしました。

今後につきましては、ゲーム会社の収益性の高いタイトルへの予算は回復に向かう見通しであり、海外SaaS事業の一時休止顧客の半数以上が第2四半期で取引再開の予定となっております。しかしながら、ゲーム会社のマーケティング広告制作はマーケット不況時に削られやすい予算であるため、下期からは、安定的な需要が見込まれる『ゲーム制作支援』を追加する予定である他、新規顧客獲得も強化する方針でございます。

連結業績の見通しといたしましては、国内SaaS事業、ソリューション事業及び中国進出支援事業につきましては、期初予想通りに進捗するものと見込んでおりますが、積み上げ式の継続契約が中心である海外SaaS事業の第1四半期のビハインド影響を第2四半期以降に補いきれないため、2023年12月期上期・通期連結業績予想をそれぞれ上記の通り修正させていただきます。

なお、期初予想では海外SaaS事業における最大顧客の取引再開の有無が連結業績を左右すると考え、通期についてはレンジ形式での開示としておりましたが、修正予想につきましては最大顧客との取引再開を考慮しない形(コミュニケーションは継続しているものの取引再開は未定のため)で算出しております。

また、純利益については、通期は黒字予想であるものの、投資有価証券売却損益等の不確定要素により、精度の高い予想値の公表が現段階では困難なため、非開示とさせていただきます。

当社グループは、今期方針として『2025年の連結売上高100億円突破に向けて、新規顧客獲得強化とグループの総合力による更なる成長』を掲げており、国内における各事業におきましても今後の成長加速に向け、必要に応じて戦略の見直しも行いながら事業を推進してまいります。中期テーマとして掲げる『マーケティングDX支援企業として圧倒的ポジションの確立』に向けて、今後も企業価値の向上を目指し、グループ一丸となって尽力してまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上